



北海道大学映像・現代文化論学会

第4回大会

➤ 日程：2020年11月21日（土）10時～17時30分

➤ 方式：オンライン開催（要 事前参加申込・登録）

【詳細HP】 <https://www.let.hokudai.ac.jp/event/15888>



研究発表

10:05～15:25

ヤンチャー・ミクローシュ監督の映画における「^{ヘテロトピア}他なる場所」について
—『僕はこのようにやって来た』の空間システムをめぐって—

博士後期課程 モルナール・レヴェンテ

『野良猫ロック セックス・ハンター』の時代性
—大和屋笠を中心に—

博士後期課程 崔 文婕

『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』論
—物語機械と、その両義性—

博士後期課程 肖 禾子

「生の現在進行形」と「出来事の複数性」
—侯孝賢『憂鬱な楽園』試論—

博士後期課程 キョウ 金浪

「1秒に24回の真実」を超えて
—ハイフレームレート技術からアクション映画へ—

博士後期課程 欧陽 如一

講演

15:40～17:15

偶然と事物の美学
—クラカウアー『映画の理論』をめぐって—

東京大学大学院准教授 竹峰 義和

主催：北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室